

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 総務-26 軽自動車税賦課事務				ザイムスコード及び個別事業名						
					607	軽自動車税賦課事務					
主管課	市民税課		関連課								
分野名	行財政運営										
目標 (目標値)	効率のよい事務の執行										
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考							
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)							
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯								
	課税台数	34,196台	33,977台								
運営資源 状況	決算値	762千円	688千円								
	(国・県)							指標と評価		指標	軽自動車税調定額
	(負担金等)									評価	◎
	(一般財源)	762千円	688千円					◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人員配置数	1.0人	0.9人					目標値	実績値		
	人件費	10,178千円	8,967千円					20年度	96,081千円	97,271千円	
	協働の パートナー							21年度	94,961千円	99,323千円	
事務事業 運営経費	総事業費	10,940千円	9,655千円	22年度	94,961千円						
	市民1人当りの経費	62円	55円	23年度	94,961千円						
	対象者1人当りの経費	320円	284円	最終年度 (25年度)	94,961千円						
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名										
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)									
		調定額に対し人件費の割合が約10%を占めており、他の税目に比べコストが高い。									
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)									
		事務処理の一部を見直した。									
未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)										
	事務効率の大きな改善にはつながらなかった。										
今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)										
	今後も引き続きコストの削減を模索していく。										
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)							
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了											
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性						
B	有	税收効率は余りよくないが、法定事務であるので現状を維持していく。		B	有	現状を維持していく。					
課長名		小宮 純		部名・部長名		総務部・小村 亮一					